

## 8月14日 米国、アラスカ半島の地震

2021年8月14日20時57分（日本時間、以下同じ）にアラスカ半島の深さ21kmでMw6.9の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は発震機構（気象庁によるCMT解）が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと北米プレートの境界で発生した。気象庁は、この地震により、遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を同日21時24分に発表した。

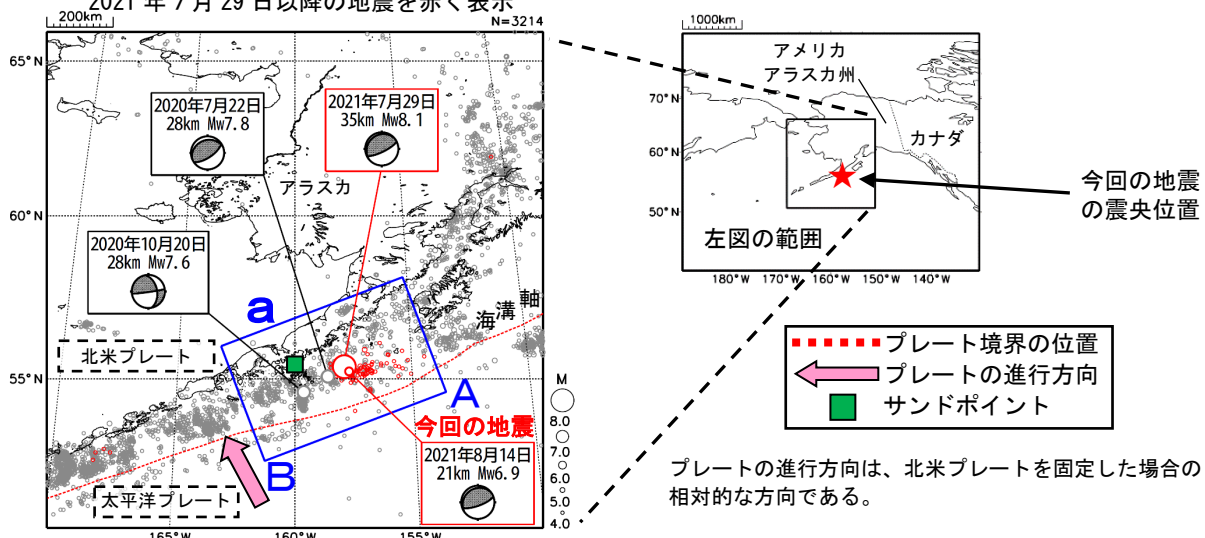
今回の地震は、7月29日に発生したMw8.1の地震（深さ35km）の活動域内で発生した。7月29日の地震では米国アラスカ州サンドポイントで0.5mなどの津波を観測した。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2020年7月22日にMw7.8の地震、同年10月20日にMw7.6の地震が発生している。領域a内の地震の時空間分布をみると、これらの地震の活動域と今回の地震を含む2021年7月29日の地震の活動域はほとんど重なっていないことが分かる。

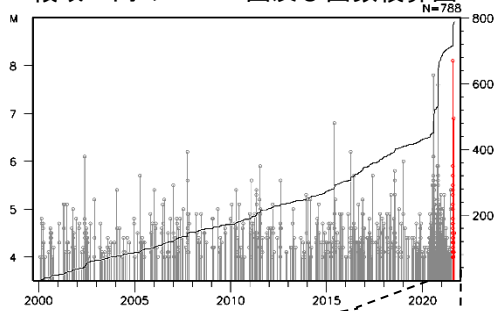
### 震央分布図

（2000年1月1日～2021年8月31日、深さ0～100km、M $\geq$ 4.0）

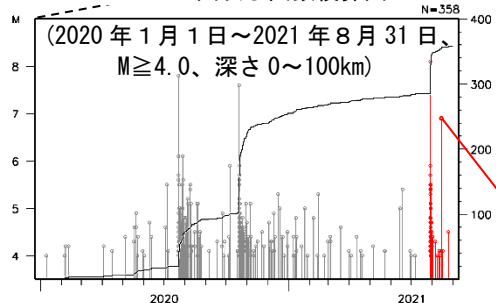
2021年7月29日以降の地震を赤く表示



### 領域a内のM-T図及び回数積算図

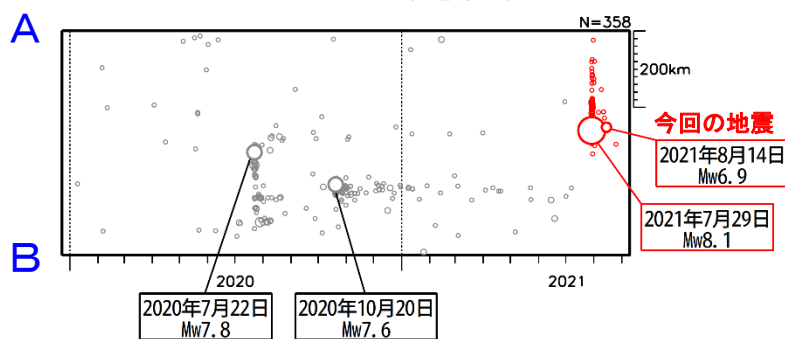


### M-T図及び回数積算図



### 領域a内の時空間分布 (A-B投影)

(2020年1月1日～2021年8月31日)  
2021年7月29日以降の地震を赤く表示



※本資料中、今回の地震、2020年7月22日の地震、2020年10月20日の地震及び2021年7月29日の地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2021年9月1日現在)。津波の高さは、米国海洋大気庁 (NOAA) による (2021年9月1日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird (2003) \*より引用。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.